

施策評価シート

施策コード	3101	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
施策名	保健、医療、福祉の連携強化	所属名 福祉保健部健康・子育て推進局 保健医療福祉連携課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす

2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○日本人の死因の第1位はがんであり、本市においても死因のうち約3割はがんとなっています。今後も、がんによる死亡者数の増加が懸念されており、がん医療水準の均てん化が求められています。</p> <p>○市民の健康を守るための保健、医療、福祉の切れ目のないサービスの提供を可能とする体制づくりが求められています。</p> <p>○単身世帯の高齢者や介護や支援を必要とする高齢者が増加しています。また、在宅の高齢者や障がいのある人が、住み慣れた地域で、安心して自立した生活を送るために、地域全体で高齢者や障がいのある人を支える体制整備や認知症に対する理解を深める活動など、保健、医療、福祉が連携した支援やサービスを提供することが課題となります。</p> <p>○市民一人ひとりの命と暮らしを支えるためには、保健、医療、福祉機関が個別に持つ情報を共有するなど効果的な連携・協力体制を強化する必要があります。</p> <p>○地域での医師不足は日本全体の大きな課題となっています。医師の確保対策や医療機関同士の相互連携と、かかりつけの診療所の利用や適切な救急医療へのかかり方などによる市民一人ひとりの力で、地域医療を守る必要</p>
めざす方向	保健、医療、福祉の垣根を越えた適切な支援やサービスの充実と連携強化により、乳幼児から高齢者まで、市民一人ひとりが健康に暮らせるまちをめざします。
達成するための対策・手段	<p>①保健、医療、福祉連携の推進体制の整備</p> <p>②地域医療体制の充実</p>

3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

成果指標	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
				1	「疾病予防対策・医療サービス」に対する市民満足度	%	目標 53.5	実績 0
	(指標の説明) 市民アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした市民の割合。(基準値は平成21年度)							
2			目標 0	実績 0	目標 0	実績 0	目標 0	実績 0
	(指標の説明)							
3			目標 0	実績 0	目標 0	実績 0	目標 0	実績 0
	(指標の説明)							

4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	1,611,617	1,499,957	1,570,492	1,521,721	1,502,413

5. 施策の成果【CHECK】

<p>施策の成果 (成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)</p>	<p>地域医療体制について、医師確保対策は市立病院を中心とした若手医師の養成・定着、総合診療医の養成に向けた体制整備を行っている。看護師等専門職の不足解消は、地元での育成・就業に向け、民間専門学校が開学した。また、地域がん診療連携拠点病院を中心とした、がん医療水準の均てん化など、地域医療水準を保つための取組みも重要であると同時に、かかりつけ医や急患診療所の1次医療の推進による効率的な機能分担や医療提供体制推進も重要である。高齢者人口の増加による医療・介護需要に対しては、保健・医療・福祉分野の連携による効率的な運用、在宅医療と介護の連携推進に向け、医師会等各分野と連携を強化していく必要がある。</p>
---	---

6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡大 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
<p>担当部長評価コメント (部としての施策の方向性) ※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載</p>	<p>医師・看護師などの医療従事者不足が顕著で、医療費の高騰も社会全体の大きな問題であり、財政を含めた限りある医療資源を効率的に運用するために、保健・医療・福祉の各分野間の連携強化は必要不可欠である。医療費適正化の面では、かかりつけ医推進などの機能分担やジェネリック医薬品の推奨、健診受診・保健指導の推進など予防事業も重要性が高い。医師確保は単純な医師数増ではなく、適切な専門医療へ導く総合診療医や在宅診療医などの不足分野への継続的な医師養成が課題である。看護師等専門職の不足解消は看護養成所の臨地実習を受け入れる体制整備が必要である。</p>

事務事業評価シート

事務事業コード	000945	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	医療福祉連携事業		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 保健医療福祉連携課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成22年度 ~ 全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	
施策	3101	保健、医療、福祉の連携強化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「疾病予防対策・医療サービス」に対する市民満足度		0%	0%	運営方法	その他
			0	0	会計区分	
予算	予算事業名	医療福祉連携事業費			予算事業コード	01-04-01-01-02-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	医療、保健、福祉の連携による、市民の健康を守る取り組み
意図 (どのような状態にするために)	乳幼児から高齢者まで、市民一人ひとりが健康に暮らせるまちをめざす。
手段 (どうするのか)	保健・医療・福祉の垣根を越えた連携を強化する取り組みを検討し、実践につなげる。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 各種連携強化の検討 強化事業の実施	平成24年度 各種連携強化の検討 強化事業の実施 事業効果の検証	平成25年度 各種連携強化の検討 強化事業の実施 事業効果の検証	平成26年度 各種連携強化の検討 強化事業の実施 事業効果の検証	平成27年度 各種連携強化の検討 強化事業の実施 事業効果の検証	
	年度別実績	各種連携強化の検討 強化事業の実施 発達支援事業体制の強化	各種連携強化の検討 強化事業の実施 事業効果の検証	各種連携強化の検討 強化事業の実施 事業効果の検証	各種連携強化の検討 強化事業の実施 事業効果の検証 在宅医療と介護の連携 強化事業の実施	在宅医療と介護の連携 強化事業の実施	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	15,194	15,063	11,806	12,101	1,490	
	直接経費 A	200	211	150	66	19	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	200	211	150	66	19		
人件費 B	14,994	14,852	11,656	12,035	1,471		
職員数の内訳	正規職員	2.00	2.00	1.60	1.60	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	保健医療福祉連携推進会議及び医療看護専門学校整備推進委員会(市主催)	回	目標	0	0	4	4	4
			実績	0	0	4	0	0	
	(指標の説明) 外部委員を交えた推進会議の開催回数								
	2	外部主催の検討会議	回	目標	0	0	3	3	3
			実績	0	0	6	6	10	
	(指標の説明) 外部主催の専門家を含めた検討会議の参加回数								
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】連携係 0857-20-3914</p> <p>【9次総の施策体系】3101</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 保健、医療、福祉の連携を強化推進し、市民の健康づくりを効率的に支える仕組みを関係機関とともに構築する。</p> <p>【事業の成果】 (平成25年度実績) <ul style="list-style-type: none"> 保健医療福祉連携会議外部委員会の会議(年1回開催) 保健、医療、福祉の各担当課との連携内部会議(随時) 看護師等の安定的な養成を推進していくために、「鳥取市医療看護専門学校(仮称)整備推進委員会」を設置し、委員会を3回開催。 (平成26年度実績) <ul style="list-style-type: none"> 内部委員会(高齢者部会、乳幼児・障がい児(者)部会、相談室・健康手帳部会)の開催。 地域包括ケアシステムの構築に向け、庁内及び関係機関との調整を行い新たな組織体制の検討を行った。 (平成27年度) <ul style="list-style-type: none"> 鳥取県東中部圏域地域医療推進協議会の開催。(年1回開催) 鳥取県東部保健医療圏地域保健医療協議会(年4回参加) 鳥取県立中央病院地域医療支援評議会(年1回参加) 鳥取赤十字病院地域医療支援病院運営協議会(年4回参加) </p> <p>【今後の課題・方向性】 <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、外部委員会等に参加し、関係機関との連携強化に努めていく。 </p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	保健医療福祉連携推進会議及び医療看護専門学校整備推進委員会(市主催)			100%		
	2	外部主催の検討会議			200%	200%	200%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民の健康を守るため、形ある事業ではなく仕組みづくりであるため、市が積極的に関与していくべき。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	看護師不足等の市が抱える課題解消に向けた取組み実現のため、各機関をつなぐリード役として活躍。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	連携については、即効的に効果が上がる事業ではない。地道に活動するほかないと考える。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市民が健康になると、医療や福祉にかかる住民負担は軽減されていく。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input checked="" type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>保健医療福祉連携推進会議の協議テーマの地域医療と福祉の連携については、高齢社会課に地域包括ケア推進室ができ、そちらに事務が移行したため、連携推進会議は開催しないが、未だ、各分野での資源(施設、人材)は不足気味で、分野間の連携による効果的な運用は必要であり、調整役としての行政の役割に対し、期待されている。引き続き有効な対策の検討が必要である。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	000958	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	医師確保対策		所属名	市立病院

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	3101	保健、医療、福祉の連携強化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「疾病予防対策・医療サービス」に対する市民満足度		0%	0%	運営方法	直営
			0	0	会計区分	その他
			0	0		
予算	予算事業名			予算事業コード		

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市立病院の常勤医師
意図 (どのような状態にするために)	地域がん診療連携拠点病院として高水準の医療を提供していくため、診療体制の充実を図る。
手段 (どうするのか)	将来、鳥取市立病院において医師として勤務しようとする医学生に対し、奨学金を貸与することにより、市立病院における医師の確保を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 医師奨学生の募集・決定 2名 奨学金の貸与	平成24年度 医師奨学生の募集・決定 2名 奨学金の貸与	平成25年度 医師奨学生の募集・決定 2名 奨学金の貸与	平成26年度 医師奨学生の募集・決定 2名 奨学金の貸与	平成27年度 医師奨学生の募集・決定 2名 奨学金の貸与	
	年度別実績	医師奨学生の決定 2名 奨学金の貸与	医師奨学生の決定 2名 奨学金の貸与	医師奨学生の決定 1名 奨学金の貸与	医師奨学生の決定 0名 奨学金の貸与	医師奨学生の決定 1名 奨学金の貸与	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	20,439	18,664	18,750	12,600	12,822	
	直接経費 A	20,364	18,664	18,750	12,600	12,822	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	9,375	6,300	0
一般財源	20,364	18,664	9,375	6,300	12,822		
人件費 B	75	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		医師奨学生数(定員:各学年2名 計12名)	人	目標	12	12	12	12	12
	(指標の説明) 奨学金を貸与している人数		実績	11	11	11	9	7	
2				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0
3				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取市立病院 総務課 0857-37-1522</p> <p>【9次総の施策体系】3101</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 将来、鳥取市立病院において医師として勤務しようとする医学生に対し、奨学金を貸与することにより、市立病院における医師の確保を図る。</p> <p>【事業の成果】 毎年度、医師奨学生を募集・決定し、奨学金を貸与する。 募集人員2名/年度 定員各学年毎に2名、計12名 貸与額 150,000円/月 平成27年度末医師奨学生数 7名 平成28年度初期臨床研修開始医師 2名 平成28年度常勤開始医師 1名</p> <p>【今後の課題・方向性】 地域医療を確保していくためには、病院自ら医師を養成し、確保していく体制を継続する必要がある。</p>

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	医師奨学生数(定員:各学年2名 計12名)	92%	92%	92%	75%	58%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	診療体制の充実を図るためには、先ず医師を確保する必要がある。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	全国的な医師不足の中、将来当院に勤務することとなる医学生を確保することができており、平成23年度から順次、初期臨床研修医として迎え、その後常勤医師として勤務している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	投資した以上のものが、地域医療を通じて住民に直接還元されるため、費用対効果が高いと思われる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	同一条件で、公募選考しているため、公平性は保たれている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	当院は急性期病院・救急告示病院であり、地域医療を確保していくためには病院自らが医師を養成し、確保していく体制を維持していかなければならない。応募者が減少傾向にあるので、より一層広報等にも力を入れていく必要がある。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002911	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	看護師等確保対策事業		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 保健医療福祉連携課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成25年度 ~ 全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	
施策	3101	保健、医療、福祉の連携強化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「疾病予防対策・医療サービス」に対する市民満足度		0%	0%	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	看護職員実習指導者養成支援事業費			予算事業コード	01-04-01-01-27-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内医療機関
意図 (どのような状態にするために)	実習病院の不足解消につなげる。
手段 (どうするのか)	看護職員実習指導者養成講習会に職員を受講させる医療機関に受講者の受講期間の基本給の一部を補助する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			対象病院への補助金交付	対象病院への補助金交付	対象病院への補助金交付	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	5,508	3,568	3,627	
	直接経費 A	0	0	4,342	2,364	2,450	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	4,342	2,364	2,450
人件費 B	0	0	1,166	1,204	1,177		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.16	0.16	0.16	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	対象受講者数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			人	目標	0	0	15	15	15	
			実績	0	0	20	26	19		
	(指標の説明) 補助金交付対象となる受講者の人数									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 連携係 0857-20-3914</p> <p>【9次総の施策体系】 3101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P 8 3 (健0 0 4)</p> <p>【事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市では市民の健康を守る上でも現在及び将来にわたっての看護師不足解消のため、新たな看護師養成所の誘致に取り組み、平成27年4月1日、鳥取市医療看護専門学校が開校した。 ・実習指導者養成講習会の受講支援をすることにより、看護師養成所の新設への課題の一つである実習病院の不足解消につなげる。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県等が主催する看護職員実習指導者養成講習会に職員を受講させる医療機関に受講者の受講期間(約2か月)の基本給の一部を補助する。 ・受講者1人につき15万円を上限とする。 ・鳥取市単独の補助事業。 <p>【事業の成果】</p> <table border="0"> <tr> <td>平成25年度実績</td> <td>補助対象者数</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補助金額</td> <td>4,342,000円</td> </tr> <tr> <td>平成26年度実績</td> <td>補助対象者数</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補助金額</td> <td>2,364,000円</td> </tr> <tr> <td>平成27年度実績</td> <td>補助対象者数</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補助金額</td> <td>2,450,000円</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 臨地実習の受け入れ体制の整備に向け、引き続き事業を継続する。</p>	平成25年度実績	補助対象者数	20人		補助金額	4,342,000円	平成26年度実績	補助対象者数	26人		補助金額	2,364,000円	平成27年度実績	補助対象者数	19人		補助金額	2,450,000円
平成25年度実績	補助対象者数	20人																	
	補助金額	4,342,000円																	
平成26年度実績	補助対象者数	26人																	
	補助金額	2,364,000円																	
平成27年度実績	補助対象者数	19人																	
	補助金額	2,450,000円																	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	対象受講者数			133%	173%	127%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	看護師等養成所の臨地実習先の確保のために、実習指導者養成は不可欠である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	臨地実習受け入れ施設の負担軽減につながっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	実習指導者の急速な充足には市の支援が必要不可欠である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	鳥取県地域医療再生基金事業補助金との均衡を図りながら交付している。医療従事者の不足解消につながる事業であり、将来的、継続的な市民の安心・安全に必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	看護師等養成所の臨地実習を行う医療機関等の看護職員実習指導者の確保を図り、臨地実習の受け入れ体制の整備に向け、引き続き事業は継続する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000946	重点事業区分	リープロ2	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	病院群輪番制事業費補助金		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 保健医療福祉連携課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	
施策	3101	保健、医療、福祉の連携強化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「疾病予防対策・医療サービス」に対する市民満足度		0%	0%	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	病院群輪番制事業費補助金			予算事業コード	01-04-01-01-03-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	休日の救急医療（2次～3次）の確保
意図 (どのような状態にするために)	夜間・休日の救急医療（2次～3次）体制を確保し、市民生活の安全を守る目的
手段 (どうするのか)	当番病院に対して、運営費を補助する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	年度別計画	対象病院への補助金交付	対象病院への補助金交付	対象病院への補助金交付	対象病院への補助金交付	対象病院への補助金交付	
年度別実績	対象病院への補助金交付	対象病院への補助金交付	対象病院への補助金交付	対象病院への補助金交付	対象病院への補助金交付		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,125	9,261	9,100	8,968	9,256	
	直接経費 A	8,525	8,667	8,809	8,667	8,667	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,525	8,667	8,809	8,667	8,667		
人件費 B	600	594	291	301	589		
職員数の内訳	正規職員	0.08	0.08	0.04	0.04	0.08	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	輪番対象日 (指標の説明) 補助対象病院の当番日数	日	目標	60	60	62	62	62
				実績	60	61	62	61
2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 連携係 0857-20-3914</p> <p>【9次総の施策体系】 3102</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 休日の2次及び3次診療体制の充実をはかる。地域の実情に応じた休日夜間の診療体制を整え、市民サービスの向上に努める。 (内容) 日曜及び祝日等の休日(第2土曜日含む)に市内4病院が順番で、入院治療を必要とする重症救急患者を受け入れる体制を整える。 原則として、初期救急医療施設からの転送患者を受け入れるものとする。 ・実施病院：市立病院、中央病院、生協病院、日赤病院が順番で実施する。 ・診療時間：休日等の午前8時30分～翌日の午前8時30分</p> <p>【事業の成果】 (実績) ※中央病院は補助対象外 平成25年度実績 8,808,960円(日赤、市立、生協) 平成26年度実績 8,666,880円(日赤、市立、生協) 平成27年度実績 8,666,880円(日赤、市立、生協)</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き診療体制を整え、市民サービスの向上に努める。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	輪番対象日	100%	102%	100%	98%	98%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	休日の2次・3次の医療体制を整備するうえで必要。採算性に乏しい事業であり、補助による事業の継続が必要。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	住民へも周知されており患者も多い。輪番制であり各病院の負担軽減になっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	輪番制で各病院の負担軽減になっている。他の事業形態は考えられない。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	広く市民に周知されており、医療費は受益者負担されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	安心・安全な市民生活のため、引き続き事業継続し、休日の2次～3次医療体制の継続に努める必要がある。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000947	重点事業区分	リープロ2	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	夜間休日急患診療所運営体制整備事業		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 保健医療福祉連携課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	
施策	3101	保健、医療、福祉の連携強化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「疾病予防対策・医療サービス」に対する市民満足度		0%	0%	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	夜間休日急患診療所運営委託費等			予算事業コード	01-04-01-01-04-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	休日・夜間の1次救急体制（内科・小児科の軽症患者が対象）の確保
意図 (どのような状態にするために)	夜間・休日の1次救急医療体制を確保する。また2次～3次救急病院への軽症患者の来院を防ぎ、病院勤務医師等の疲弊軽減による地域の医師等医療従事者全体の確保を目的とする。
手段 (どうするのか)	鳥取県東部医師会へ運営委託し、安定的な1次救急医療体制を確保する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	委託契約の締結	委託契約の締結	委託契約の締結	委託契約の締結	委託契約の締結	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	39,176	39,683	39,760	39,893	40,510	
	直接経費 A	37,976	38,495	38,594	38,689	39,039	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	37,976	38,495	38,594	38,689	39,039	
人件費 B	1,200	1,188	1,166	1,204	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.16	0.16	0.16	0.16	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		診療日数	日	目標	366	365	365	365	365
			実績	366	365	365	365	366	
		(指標の説明) 急患診療所の診療日数							
	2		目標	0	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0	0
	(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 連携係 0857-20-3914</p> <p>【9次総の施策体系】 3102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P 8 2 (健001)</p> <p>【事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児科診療についても平成25年度より全日急患診療所での対応となった。 ・日々、夜間及び日曜、祝日等の休日に、急な診察を必要とする患者が診察を受けられるよう、急患診療所の運営を鳥取県東部医師会へ委託し、住民サービスの向上を図る。また1次救急患者の受入れ促進を図り、2次および3次救急体制の負担軽減を図る。 <p>(内容)</p> <p>夜間、休日等における急患診療体制を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託先：鳥取県東部医師会 ・診療科目：内科、小児科 ・診察時間： <内科・小児科> 夜間・・・通年(365日) 午後7時から午後10時まで 休日・・・日曜日及び祝日並びに12月30日から翌年の1月3日 午前9時から午後5時まで ・実施場所：鳥取県東部医師会急患診療所 (鳥取市富安1丁目58番地1) <p>【事業の成果】</p> <table border="0"> <tr> <td>平成25年度</td> <td>夜間</td> <td>9,457人</td> <td>休日</td> <td>7,061人</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>夜間</td> <td>9,252人</td> <td>休日</td> <td>7,027人</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>夜間</td> <td>10,057人</td> <td>休日</td> <td>7,459人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>市報、新聞等の広報活動もあり利用者が増加した。引き続き1次救急体制を整備し、さらなる周知を図っていく。</p>	平成25年度	夜間	9,457人	休日	7,061人	平成26年度	夜間	9,252人	休日	7,027人	平成27年度	夜間	10,057人	休日	7,459人
平成25年度	夜間	9,457人	休日	7,061人												
平成26年度	夜間	9,252人	休日	7,027人												
平成27年度	夜間	10,057人	休日	7,459人												

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	診療日数	100%	100%	100%	100%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	医師不足の病院の2次～3次医療を円滑に行うため、軽症患者の救急体制整備は不可欠である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	2診体制で運営されており、患者数も増加している。2次～3次医療の負担軽減になっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	毎日、同一場所での実施であり、市民にも広く周知されている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	内科、小児科の診療で全市民対象であり、医療費は診療報酬制度の負担割合で保険者及び利用者が負担している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	引き続き事業継続し、夜間及び日曜・祝日等の1次救急診療体制の継続に努める。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000957	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	佐治診療所運営事業		所属名	福祉保健部 保険年金課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり	事業期間	平成27年度～ 全期	
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす	根拠法令、根拠計画等	鳥取市国民健康保険診療所の設置及び管理に関する条例	
施策	3101	保健、医療、福祉の連携強化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	
	「疾病予防対策・医療サービス」に対する市民満足度		0%	0%		施設管理
			0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	
予算	予算事業名	医科運営費		予算事業コード	16-01-01-01-02-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	佐治町をはじめとする地域住民
意図 (どのような状態にするために)	健康の維持増進と医療の提供を行う
手段 (どうするのか)	安定的な医師の確保に努め、診療所の運営・維持を図る

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	医師の確保を行い、佐治診療所(医科)の運営を維持する。	医師の確保を行い、佐治診療所(医科)の運営を維持する。	医師の勤務しやすい環境の整備に努め、医師の確保を行うとともに、診療所を維持し、地域医療サービスの提供を維持する。	医師の勤務しやすい環境の整備に努め、医師の確保を行うとともに、診療所を維持し、地域医療サービスの提供を維持する。	医師の勤務しやすい環境の整備に努め、医師の確保を行うとともに、診療所を維持し、地域医療サービスの提供を維持する。	
	年度別実績	医師の確保を行い、佐治診療所(医科)の運営を維持した。	医師の確保を行い、佐治診療所(医科)の運営を維持した。	医師の勤務しやすい環境の整備に努め、医師の確保を行うとともに、診療所を維持した。また、サービス空白地となっていた訪問リハビリ事業を開始するなど地域医療・介護サービスの充実を図った。	医師の勤務しやすい環境の整備に努め、医師の確保を行うとともに、診療所を維持した。また、サービス空白地となっていた訪問リハビリ事業も継続し、地域医療・介護サービスの充実を図った。	医師の勤務しやすい環境の整備に努め、医師の確保を行うとともに、診療所を維持した。また、サービス空白地となっていた訪問リハビリ事業も継続し、地域医療・介護サービスの充実を図った。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	58,458	57,691	60,453	59,095	59,466	
	直接経費 A	34,258	33,512	38,598	36,529	37,395	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	78
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	34,258	33,512	38,598	36,529	37,317
一般財源	0	0	0	0	0		
人件費 B	24,200	24,179	21,855	22,566	22,071		
職員数の内訳	正規職員	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	
	嘱託職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	1	受診者数	人	目標	6200	6200	6200	6200	6200	
		実績		6453	6803	6352	6634	6235		
	(指標の説明) 医科の受診者数									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									
3		目標	0	0	0	0	0	0		
	実績	0	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】庶務係 0857-20-3481</p> <p>【9次総の施策体系】3101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P316(国012)</p> <p>【事業の概要】 夜間に無医地域となる佐治地域の住民の健康・福祉の維持増進を図るため、医師の確保に努め、地域医療サービスを提供する。 診療科：内科、小児科、外科(開設：平成2年4月2日) 職員：医師1名、看護師2名</p> <p>【事業の成果】 診療所を維持するため、鳥取市立病院との医薬品共同購入による経費の節減、人間ドックをはじめとする各種健診の積極的な実施等により、収益向上に努めた。また、介護サービス空白地解消を図ることを目的に平成25年度に開始した訪問リハビリ事業により、在宅サービスの向上につながっている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間診療日数</td> <td>214日</td> <td>215日</td> <td>212日</td> </tr> <tr> <td>年間件数</td> <td>6,352件</td> <td>6,352件</td> <td>6,235件</td> </tr> <tr> <td>1日平均</td> <td>29.7件</td> <td>30.9件</td> <td>29.4件</td> </tr> <tr> <td>訪問リハビリ</td> <td>118件</td> <td>548件</td> <td>313件</td> </tr> <tr> <td>診療報酬収入</td> <td>79,538,159円</td> <td>77,516,070円</td> <td>72,206,889円</td> </tr> <tr> <td>その他雑入</td> <td>9,396,630円</td> <td>10,806,733円</td> <td>8,676,870円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 地域住民の健康維持を図るために常駐医師の確保が優先的な課題であり、収益の増加を図りながら、計画的に診療環境の整備を進め、引き続き地域医療サービスの提供に努めていく。 ※その他財源の諸収入は、健診委託料等 ※その他財源のその他は、診療収入等</p>		平成25年度	平成26年度	平成27年度	年間診療日数	214日	215日	212日	年間件数	6,352件	6,352件	6,235件	1日平均	29.7件	30.9件	29.4件	訪問リハビリ	118件	548件	313件	診療報酬収入	79,538,159円	77,516,070円	72,206,889円	その他雑入	9,396,630円	10,806,733円	8,676,870円
		平成25年度	平成26年度	平成27年度																									
年間診療日数	214日	215日	212日																										
年間件数	6,352件	6,352件	6,235件																										
1日平均	29.7件	30.9件	29.4件																										
訪問リハビリ	118件	548件	313件																										
診療報酬収入	79,538,159円	77,516,070円	72,206,889円																										
その他雑入	9,396,630円	10,806,733円	8,676,870円																										

6. 活動指標の達成率【CHECK】

指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1 受診者数	104%	110%	102%	107%	101%
	2					
	3					

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	採算性が低く医療機関が立地できない無医地域を解消することは、行政の責務として取り組むべきものである
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	高齢化が著しい過疎地域において在宅医療・介護サービスを積極的に展開することは住民の健康維持に不可欠である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	国からの財源の活用、増収の努力により、経常支出を賄うことが可能な収入を確保している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	無医地域となる地域住民に診療機会を提供することは、地域間の行政サービスの公平性を担保するものである

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	地域住民の健康維持を図るため、医師の確保及び収益の増加を図りながら、引き続き地域医療サービスの提供に努めていく。	